

平成 30 年 度 事 業 報 告

(自 平成 30 年 4 月 1 日～至 平成 31 年 3 月 31 日)

年月日	事業名	開催場所	摘 要
30. 4. 20	講演会	東京・新宿区四谷区民ホール	<p>平成 30 年度文部科学省主催の科学技術週間行事の一翼に参加し「第 57 回電気科学技術講演会」を開催。テーマは『2019 年エネルギー・イノベーション～スマートグリッド最新情報～』。入場無料，参加者数 230 名。</p> <p>[講師] 東京大学大学院教授 工学博士 横山 明彦氏 東京電力ホールディングス株式会社 博士(工学) 蘆立 修一氏 九州電力株式会社 送配電カンパニー 和仁 寛氏 早稲田大学大学院教授 博士(工学) 林 泰弘氏 東京大学大学院 准教授 博士(工学) 馬場 旬平氏 東京電力ホールディングス株式会社 武田 泰弘氏</p> <p>第 57 回を迎えた電気科学技術講演会は，電力の自由化に伴い太陽光発電をはじめ自然エネルギーにより発生した電力を送電線網に連系することによって，既存の送電線網にどのような影響をもたらすか関心が寄せられている課題について，上記 6 名の講師が講演した。聴講者は 230 名。各講師のテーマは，横山氏『電力システムのスマート化と将来展望』，蘆立氏『新島におけるスマートグリッドの実証試験』，和仁氏『再生エネルギー大量連系に向けた今後の取り組み』，林氏『重要性を増すスマートインバータ』，馬場氏『需要家の産業用機器の制御と運用の最適化』，武田氏『電力業界におけるブロックチェーン利用に関して』と題する講演であった。</p> <p>現在，電力業界において話題のテーマは，電力の自由化と電力の広域運営である。関心のある方々の聴講が目立った。首都圏を中心に全国から幅広い参加者が集う講演会であった。</p>
30. 5. 21	創設 70 周年部会	学士会館	<p>平成 30 年度第 1 回創設 70 周年部会を開催 出席者：安田 浩氏(当会会長)，横山明彦氏(当会理事長)，古澤宏氏(当会理事)，早野敏美氏(当会顧問)，児玉雅俊氏(前当会評議員会議長，当会部会長)，後藤康之氏(当会評議員)，三木一克氏(当会理事)，仲田一元氏(当会監事) 事務局：護田一郎，杉山文和</p> <p>[議事]</p> <p>部会長に児玉雅俊氏の就任をお願いし，議事を進めることとした。事務局から，議事資料を基に討議のドラフトの概略を説明する。平成 30 年 3 月 2 日開催の第 2 回部会の討議を受け，大局的な見地に立ちご意見，ご提言等をいただきたい旨を，提案した。</p> <p>[議案]</p> <p>(i)運営基盤の強化(事務局体制，他)，(ii)電気科学技術奨励賞，電気科学技術講演会の評価と見直し(平成 30 年電気科学技術奨励賞審査規程の見直し，受賞者記念出版，受賞者アーカイブ等)の 2 件について重点を絞り，議論を進める。</p> <p>討議は直近の課題に議論を絞り込んだ。主に(i)項について包括的に行われた。</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
30. 5. 24	顕彰（電気 科学技術奨 励学生賞授 与）	ANAクラ ウンプラザ ホテル新潟	大学院生・大学生への国際会議提出優秀論文贈賞の件 平成30年度の事業計画に盛り込まれている「科学技術に関する研究者に対して研究助成金を贈呈すること」について、平成30年度電気科学技術奨励学生賞として、IPEC-Niigata2018「パワーエレクトロニクスに関する国際会議」が新潟市のANAクラウンプラザホテル新潟で開催された。同会議は、電気学会産業応用部門主催のIPECとして、日本、韓国、中国の電気学会の共催により各国持ち回りで開催されている。2018年は日本が開催国であった。今回の会議では、日本の大学院生2名（長岡技術科学大学、東京理科大学）、インドネシアの大学院生1名、中国の大学院生1名、アメリカの大学院生1名の計5名に学生賞が授与された。贈賞式会場では、授賞者に賞状と研究助成金が手渡されると歓声と拍手が沸き起こり、会場から若者にエールが送られた。
30. 6. 5 6. 6	顕彰（電気 科学技術奨 励学生賞授 与）	一般社団法人 映像情報 メディア学 会会議室	大学院生・大学生への国際会議提出優秀論文贈賞の件 平成30年度の事業計画に盛り込まれている「科学技術に関する研究者に対して研究助成金を贈呈すること」について、平成30年度は一般社団法人映像情報メディア学会主催の「IDW '17(ディスプレイ国際ワークショップ)」で、2件2名(中国人大学院生、日本人大学院生各1)が推薦され、6月5日、6日の両日に同学会会議室において、事務局立会いのもと賞状と助成金を授与した。贈賞式には、両受賞者の指導教官も同席され、受賞までの研究課題の取り組みや研究内容に関する質疑応答等を行い、国内外の交流と懇親を深めた。
30. 6. 7	理事会 (第1回)	学士会館	平成30年度第1回理事会(平成29年度決算承認理事会)を開催 出席者:理事総数14名中、出席理事10名(安田 浩氏、横山明彦氏、梶原滋正氏、佐藤良明氏、古澤 宏氏、眞野大輔氏、三木一克氏、村上和夫氏、山本康裕氏、護田一郎氏) 欠席理事:4名(海老塚清氏、木戸啓人氏、川上景一氏、間宮 馨氏) 出席監事:2名(仲田一元氏、持田二郎氏) 出席顧問:1名(早野敏美氏) 事務局:杉山文和、松井利行 [議事] 理事会議長として横山理事長が議長席に着く。定款第40条により理事会の議決は定足数(理事の過半数)を満たしていることを確認後、議事に入る。 議事に先立ち、平成29年度第4回理事会議事録(平成30年3月7日)を確認した。議事は、次の議案について審議した。 第1号議案 平成29年度事業報告承認の件 第2号議案 平成29年度計算書類等承認の件 第3号議案 任期満了に伴う理事13名の推薦の件 理事13名の任期満了に伴い、新理事候補者の履歴書を提出し、推薦したい旨の説明を行う。新理事候補者は、以下の通りである。 ・新理事候補者(50音順) 梶原滋正氏、川上景一氏、寒川哲臣氏、高本 学氏、富岡義博氏、古澤 宏氏、本田直志氏、間宮 馨氏、三木一克氏、村上和夫氏、護田一郎氏、安田一成氏、横山明彦氏 新理事候補者について、履歴書等を含め各人個別の審議を行った。慎重審議の結果、全員異議なく承認した。

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>第4号議案 定時評議員会の招集の件</p> <p>定款第19条(招集)により定時評議員会の開催については、理事会にて日時、場所、目的である事項等を決議することになっている旨を説明。議事の第1号、第2号、第3号議案及び評議員4名の辞任に伴う新評議員4名の選任の件等を決議、承認いただく定時評議員会である旨を提案、了承した。新任評議員候補者は、以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任評議員候補者(50音順) 秋山靖裕氏、北島尚史氏、園原吉光氏、田中 明氏 <p>評議員会は、理事会の書類開示期間2週間以降の6月28日(木)に開催する件について審議、全員異議なく承認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務報告では、 <ul style="list-style-type: none"> i) 第66回電気科学技術奨励賞推薦候補規定の一部見直しについて 現行規定の職歴通算年数を“原則として、職歴通算10年以上の人”を、“原則として、職歴通算5年以上の人”に改めた旨を報告。 ii) 第57回電気科学技術講演会の報告 第57回電気科学技術講演会を4月20日(金)に東京・新宿区立四谷区民ホールにおいて開催したことを報告。「2019年エネルギー・イノベーション～スマートグリッド最新情報～」を演題に6名の講師が講演した。全国から230名の参加者が聴講され、盛況のうちに終了したことを報告した。 iii) 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告に関する件 定款第27条及び法人法91条により、平成30年前期(4月1日～6月7日)の報告を下記の項目について行った。 <ul style="list-style-type: none"> (1)第57回電気科学技術講演会の開催に伴う準備と実務を実行。 (2)平成30年度第1回70周年部会の開催と取り組み (3)平成30年度第1回理事会の準備と開催での対応 (4)創設70周年部会に関する経過報告(経営体制の強化、電気科学技術講演会の評価と見直しについての検討結果) <p>上記が承認され、議事を終了した。</p>
30. 6. 20	運営検討委員会	オーム社第11会議室	<p>平成30年度運営検討委員会・分類部会を開催</p> <p>出席者：安田 浩氏(当会会長)、横山明彦氏(当会理事長)、江頭誠氏、木戸啓人氏(当会理事)、祖父江和夫氏(当会評議員)、田中一彦氏(一社 日本電機工業会)</p> <p>オブザーバー：早野敏美氏(当会顧問)</p> <p>事務局：護田一郎、杉山文和、松井利行(オブザーバー)</p> <p>座長に江頭 誠氏を推薦し、同氏の進行のもと分類部会の協議を開始した。江頭座長から検討議題の全体概要の説明があり、議題に沿って議論が開始された。</p> <p>[議題]</p> <p>電気科学技術奨励賞の選考要領における運用細則の見直しについて、(1)贈賞件数、(2)グループ企業の応募の取扱いを議論した。</p> <p>[議事]</p> <p>(1)項につき、現状、課題、今後の方向性などを議論した。</p> <p>贈賞件数については、現行規定に一部文言を追加し、「推薦件数の50%を目安とするものの、総贈賞件数は30件を超えない</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>ものとする」。実施時期は、平成 30 年度第 66 回電気科学技術奨励賞審査委員会からとする。</p> <p>(2)項については、グループ企業の定義がはっきりとせず、時間をかけて検討し、継続審議として平成 31 年度以降の応募から適用する。</p> <p>ことで両項とも意見を集約し、審議を終えた。</p>
30. 6. 28	評議員会	学士会館	<p>平成 30 年度定時評議員会(平成 29 年度決算書類の承認)を開催 出席者：評議員総数 20 名中、出席評議員 15 名(太田昭吾氏、尾口裕介氏、後藤康之氏、佐々木昭悟氏、軸屋尚久氏、祖父江和夫氏、田山幸彦氏、塚田龍也氏、寺井弘幸氏、中谷竜二氏、秦 利男氏、保科基彦氏、松本袈裟文氏、安川秀樹氏、吉田 隆氏)</p> <p>他に、当会代表理事(会長)・安田 浩氏、(理事長)・横山明彦氏、(当会監事)・仲田一元氏(公認会計士・税理士)が出席 欠席評議員 5 名(江頭 誠氏、佐田 豊氏、鈴木貞二氏、松尾智弘氏、松田 薫氏)</p> <p>議事に先立ち、平成 29 年度臨時評議員会議事録(平成 29 年 10 月 6 日)を確認後、議事に入る。</p> <p>[議事]</p> <p>理事会承認後の平成 29 年度事業報告、平成 29 年度計算書類等の開示機関 2 週間を経て、評議員会を開催した旨を説明した後、出席評議員の中から互選により、議長に祖父江和夫氏を選出する。祖父江氏が議長席に着き開会を宣言後、議長が定款第 21 条により評議員会の議決は定足数(過半数)を満たしていることを確認後、議事録署名人に寺井弘幸氏、秦 利男氏を指名し、議事に入る。議事は、次の議案について審議した。</p> <p>第 1 号議案 平成 29 年度事業報告の件 第 2 号議案 平成 29 年度計算書類等承認の件 第 3 号議案 任期満了に伴う理事 13 名選任の件</p> <p>理事 13 名の任期満了に伴い、新理事候補者のリストを提出し、任期中の 1 名の理事(安田 浩氏)を除き、13 名を新理事候補として推薦したい旨の説明を行う。新任理事候補者は、以下の 13 名である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任理事候補者(50 音順) 梶原滋正氏、川上景一氏、寒川哲臣氏、高本 学氏、富岡義博氏、古澤 宏氏、本田直志氏、間宮 馨氏、三木一克氏、村上和夫氏、護田一郎氏、安田一成氏、横山明彦氏 <p>新理事候補者について、各人ごとの履歴書等を含め個別の審議をし、個別の決議を行った。慎重審議の結果、全員異議なく承認した。</p> <p>第 4 号議案 評議員 4 名の辞任に伴う新評議員選任の件</p> <p>定年、転勤、業務異動等により、評議員 4 名の辞任の申し出がなされた旨を説明。新評議員候補者 4 名のリストを提出し、新任評議員候補者として推薦したい旨を説明した。候補者は、以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任評議員候補者(50 音順) 秋山靖裕氏(株式会社 東芝)、北島尚史氏(東京電力ホールディングス株式会社)、園原吉光氏(株式会社 安川電機)、田中 明氏(株式会社 明電舎)

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>候補者について、各人ごとの履歴等を含め個別の審議をし、個別の審議を行った。慎重審議の結果、全員異議なく承認した。なお任期は、前評議員の任期の残り期間とする。</p> <p>第5号議案 常勤業務執行理事(専務理事)に対する報酬の件</p> <p>定款第31条(役員に対する報酬)の規定により、常勤業務執行理事(専務理事)に対しては、評議員会において定める規程(略)に従って報酬を支給することができることを説明。該当の常勤専務理事の給与手当として、年額300万円以内(税込)を支給することを提案。慎重審議の結果、全員異議なく承認した。</p> <p>[業務報告事項]</p> <p>i) 平成30年度事業計画書及び収支予算書等の報告の件 平成30年度の事業計画書及び計算書類等が、平成29年度第4回理事会(平成30年3月7日開催)で承認され、3月28日に内閣府への手続きが完了した旨を報告、</p> <p>ii) 第66回電気科学技術奨励賞に関する件 第66回電気科学技術奨励賞の受賞候補者推薦規定のうち、社会情勢の変化や技術の進歩等に鑑み、職歴通算年数を“原則として、職歴通算10年以上の人”を、“原則として、職歴通算5年以上の人”に改めた旨を報告するとともに、選定基準等の概要を説明した他、一連の行事日程を報告した。</p> <p>iii) 第57回電気科学技術講演会の報告 第57回電気科学技術講演会を4月20日(金)に東京・新宿区立四谷区民ホールで開催した件を報告。『2019年エネルギー・イノベーション～スマートグリッド最新情報～』と題し、6名の講師(横山明彦氏(東京大学大学院教授)、蘆立修一氏(東京電力ホールディングス(株))、和仁 寛氏(九州電力(株))、林 泰弘氏(早稲田大学大学院教授)、馬場旬平氏(東京大学大学院准教授)、武田泰弘氏(東京電力ホールディングス(株))が講演した。入場無料の講演会で全国から230名が聴講された。</p> <p>iv) 創設70周年部会の経過報告 平成30年度第1回の議案1「経営体制の強化」、議案2「電気科学技術講演会」の評価と見直しについての検討結果を報告。以上の業務報告を行い全員異議なく承認し、議事を終了した。</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
30. 6. 28、	理事会 (第2回)	学士会館	<p>平成30年度第2回(臨時)理事会を開催 出席者:理事総数14名中、出席理事11名(安田 浩氏、間宮 馨氏、横山明彦氏、梶原滋正氏、寒川哲臣氏、高本 学氏、富岡義博氏、古澤 宏氏、三木一克氏、村上和夫氏、護田一郎氏) 欠席理事3名(川上景一氏、本田直志氏、安田一成氏) 出席監事2名(仲田一元氏、持田二郎氏) 出席顧問1名(早野敏美氏)</p> <p>[議事] 定款第39条により、理事会議長として理事長がその議長になると定められているが、本理事会において理事長が選定されることに鑑み、仮議長として横山理事を推薦した。横山理事が仮議長席に着く。定款第40条により理事会の議決は定足数(過半数)を満たしていることを確認後、議事に入る。議事に先立ち、平成30年度第1回理事会(平成30年6月7日)議事録を確認した。</p> <p>第1号議案 副会長、理事長、顧問、専務理事選任の件 定款第26条及び第34条により、役員及び顧問の選任は、理事会において決議するとなっていることを説明。これを受けて、古澤宏氏から副会長に間宮 馨氏を、代表理事(理事長)に横山明彦氏を、専務理事に護田一郎氏を、顧問に早野敏美氏を推薦する旨の提案があった。当理事会においてこの提案を諮ったところ、全員異議なく原案を承認した。</p> <p>理事会において、横山理事が満場一致で理事長に選任されたことに伴い、横山理事長が理事長席につき、議長として進行した。</p> <p>・業務報告事項 1)平成30年度定時評議員会において、評議員4名が辞任し、定款第13条により、新たに評議員4名を選任した。新評議員は、以下の4名である。</p> <p>・新評議員4名 秋山靖裕氏(株式会社 東芝)、北島尚史氏(東京電力ホールディングス株式会社)、園原吉光氏(株式会社 安川電機)、田中 明氏(株式会社 明電舎)</p> <p>上記が承認された。以上により、議事を終了した。</p> <p>なお、追加要件事項として、定款第50条の理事長指名による事務局人事として、専務理事補佐に杉山文和が、事務局長として松井利行が就任した。</p>
30. 7. 5	運営検討委員会	オーム社会議室	<p>第66回電気科学技術奨励賞推薦候補分類分け委員会 横山理事長出席のもと、運営検討委員3名(江頭 誠氏、祖父江和夫氏、稲月勝巳氏)が出席し(都合により安田 浩会長、田中一彦委員は欠席)、平成30年度第66回推薦候補46件(119名)について、内容を吟味のうえ、審査5分野(電力関係、産業・交通関係、民生機器関係、情報・通信関係、教育関係)に分類し、審査委員会に向けて準備を整えた。</p>
30. 7. 12	顕彰(第66回奨励賞審査委員会)	学士会館	<p>第66回電気科学技術奨励賞第1回審査委員会を開催 推薦候補46件の審査分担の調整及び最終分担(電力関係9件、産業・交通関係12件、民生機器関係7件、情報・通信関係15件、教育関係3件)並びに審査基準等を取り決め、速やかに審査を開始することとした。審査委員20名(委員長、副委員長を除く)で5分野に</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			分けて、それぞれ担当分野の書類審査を行う。審査書類の最終提出日を8月31日までと決定した。
30. 7. 23	財政健全化部会	学士会館	<p>平成30年度財政健全化部会を開催 出席者：安田 浩氏(当会会長)、横山明彦氏(当会理事長)、仲田一元氏(当会監事)、早野敏美氏(当会顧問)、古澤 宏氏(当会理事)、児玉雅俊氏(元当会評議員) 事務局：護田一郎、杉山文和、松井利行</p> <p>[議事] 部会座長に児玉雅俊氏をお願いし、議事資料を基に全体概要を概略説明する。事務局からは議案(Ⅰ)平成30年度の賛助会費・寄附金の実績等、財政全般のご報告と今後の見通し、(Ⅱ)その他を掲示し、具体的取り組み等について討議する、ことにした。</p> <p>[議案] (Ⅰ)平成30年度の賛助会費・寄附金の実績等、財政全般の報告と今後の見通しについて 当会の公益法人認定後の経常収支の推移をグラフで示し、分析結果と今後の課題を説明。なかでも当会の70周年=当たる2022年の対応と見通しを説明した。 (Ⅱ)最近の基本財産の運営等について 3メガバンク(三井住友銀行、三菱UFJ銀行、みずほ銀行)の株式配当を本業の運用に充てている。現状では、大きな変動はないとの認識である。賛助会費に対する新しい取り組みとしては、①既賛助会員社に対する増額依頼、②新賛助会員社への取り組み、③高額寄附社(者)に対する対応、に焦点を合わせて取り組んでいきたい旨を説明した。</p>
30. 9. 7	顕彰(第66回奨励賞最終審査委員会)	学士会館	<p>第66回電気科学技術奨励賞第2回審査委員会及び最終審査委員会を開催 審査委員20名(委員長、副委員長を除く)が5分野に分かれ、各担当分野の推薦候補の二次審査を行い、授賞件数24件、63名の推薦候補者案を決定。その後、審査委員全員(22名)による最終審査を行う。安田委員長の進行で行われた最終審査で授賞件数24件、63名の授賞者を原案通り決定した。授賞件数24件の中から、最優秀候補1件に文部科学大臣賞(受賞者3名)と電気科学技術奨励会会長賞1件(受賞者3名)を選出、決定した。なお、文部科学大臣賞には(株)日立製作所、(株)日立ハイテクノロジーズの共同推薦が、奨励会会長賞には日本電気(株)が選出された。贈呈式を11月14日(水)に東京神田・学士会館において実施する旨を報告。</p>
30. 9. 19	創設70周年部会	学士会館	<p>平成30年度第2回創設70周年部会を開催 出席者：安田 浩氏(当会会長)、横山明彦氏(当会理事長)、早野敏美氏(当会顧問)、児玉雅俊氏(前当会評議員会議長)、後藤康之氏(当会評議員)、三木一克氏(当会理事) 事務局：護田一郎、杉山文和、松井利行 都合により、古澤 宏委員、仲田一元委員は欠席</p> <p>[議事] 部会長に児玉雅俊氏が就任し、議事を進めることとした。事務局から、議題として①電気科学技術奨励学生賞の取り組みについて、②海外研究者・技術者との交流について、③電気科学技術奨励賞の</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>研究助成金(賞金)及び記念品の在り方についての概略を説明する。建設的なご意見、ご提言等をいただきたい旨を提案。</p> <p>各項について多くの貴重な提案がなされた。①項と②項については、それぞれ転換時期を迎えていると判断され、しばらく中止することが承認された。③項については、わが国の外部諸団体の現状を調査し、その分析結果を考察し提案すること。賞金額の見直しについては財政状況ををにらんで対応するなどの議論がなされた。</p>
30. 9. 21	理事会 (第3回)	学士会館	<p>平成30年度第3回(臨時)理事会を開催 出席者：理事総数14名中、出席理事11名(安田浩氏、間宮馨氏、横山明彦氏、梶原滋正氏、川上景一氏、高本学氏、富岡義博氏、本田直志氏、三木一克氏、安田一成氏、護田一郎氏) 欠席理事3名(寒川哲臣氏、古澤宏氏、村上和夫氏) 出席監事2名(仲田一元氏、持田二郎氏) 出席顧問1名(早野敏美氏)</p> <p>[議事]</p> <p>理事会議長として横山理事長が議長席に着く。定款第40条により、理事会の議決は定足数(過半数)を満たしていることを確認後、議事に入る。続いて定款第43条により、出席した会長、理事長、監事が議事録に記名、捺印しなければならない旨を説明し、了承を得た。</p> <p>議事に先立ち、平成30年度第2回理事会議事録(平成30年6月28日)を確認した。</p> <p>第1号議案 第66回電気科学技術奨励賞授賞者承認の件 平成30年度第66回電気科学技術奨励賞の授賞者を9月7日(金)の同賞審査委員会で別紙一覧(省略)のとおり決定(授賞件数24件、授賞者63名)し、理事会において全員一致で審議了承した。</p> <p>第2号議案 臨時評議員会の招集の件 下記に関する件を決議、承認いただく臨時評議員会を招集する旨を提案した。</p> <p>日時：平成30年9月21日(金)13:00～13:30 場所：学士会館301号室 議題：i)評議員1名辞任に伴う選任の件 ii)その他</p> <p>報告事項 第66回電気科学技術奨励賞受賞者決定の報告 上記が承認され、議事を終了した。</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
30. 9. 21	臨時評議員会	学士会館	<p>平成 30 年度臨時評議員会を開催 出席者：評議員総数 20 名中，出席評議員 13 名(太田昭吾氏，尾口裕介氏，北島尚史氏，後藤康之氏，佐々木昭悟氏，軸屋尚久氏，祖父江和夫氏，田中 明氏，塚田龍也氏，秦 利男氏，松田 薫氏，松本袈裟文氏，安川秀樹氏)</p> <p>他に，当会代表理事(会長)・安田 浩氏，(理事長)・横山明彦氏がオブザーバーとして出席 欠席評議員 7 名(秋山靖裕氏，江頭 誠氏，鈴木貞二氏，園原吉光氏，寺井弘幸氏，中谷竜二氏，吉田 隆氏)</p> <p>定款第 20 条の規定により，出席評議員の互選により議長に祖父江和夫氏を選出する。祖父江氏が議長席に着き開会を宣言後，議長が定款第 21 条により評議員会の議決は定足数(過半数)を満たしていることを確認後，議事録署名人に秦 利男氏，松田 薫氏を指名し，議事に入る。</p> <p>議事に先立ち，平成 30 年度定時評議員会議事録(平成 30 年 6 月 28 日)を確認した。</p> <p>[議事]</p> <p>第 1 号議案 評議員 1 名辞任に伴う選任の件 議長は，評議員 1 名辞任に伴う選任の必要がある旨を述べ，定款に定める手続きに基づいて作成された選任候補者(下記)を提示し諮ったところ，満場異議なく原案を承認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任評議員候補者→→→篠原郁二氏(日本電気株式会社 政策渉外部 担当部長) <p>なお任期は，前評議員の任期の残り期間とする。</p> <p>[業務報告]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度第 66 回電気科学技術奨励賞受賞者決定の報告(受賞者一覧は省略)。 <p>以上をもって議事を終了した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時評議員会で議決された評議員選任事項を法務局で登記し，その後，内閣府公益認定等委員会へ変更届を提出した。
30. 11. 14	顕彰(第 66 回電気科学技術奨励賞贈呈式)	学士会館	<p>第 66 回 電気科学技術奨励賞贈呈式及び祝賀会を挙行政</p> <ul style="list-style-type: none"> ・贈呈式(16:30~17:30) <p>贈呈式は，文部科学大臣，総務大臣，国土交通省技術審議官，資源エネルギー庁長官(いずれも代理出席)が列席の下，挙行政された。</p> <p>第 66 回の授賞件数は 24 件，授賞者数は 63 名であった。贈呈式には，受賞者(令夫人・御家族等同伴)78 名，奨励会役員・審査委員・来賓等 83 名，総勢 161 名が出席。受賞者には，当会の安田 浩会長より電気科学技術奨励賞の賞状，助成金，記念楯(雷神像青銅板入)が授与された。引き続き文部科学大臣賞(株式会社日立製作所，株式会社日立ハイテクノロジーズの 3 名)が文部科学大臣(代理)から，電気科学技術奨励会会長賞(日本電気株式会社の 3 名)が奨励会会長からそれぞれ授与された。その後，文部科学省，総務省，国土交通省，資源エネルギー庁の各大臣並びに長官及び審議官の祝辞が代読され，出席者に多くの感銘を与えた。式典の終盤では，文部科学大臣賞に輝いた株式会社日立製作所の受賞者による受賞論文の内容解説が行われ，参加者は，広く実用化されている走査型電子顕微鏡の回路ノイズの相殺と帯電抑制技術の開発について易しい解説に耳を傾けた。</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>・祝賀パーティー(18:00～19:10)</p> <p>当会の横山理事長の祝辞と乾杯の音頭で祝賀会が開始された。立食形式のパーティーの席上、千代田区長・石川雅己氏、元文部科学省奨励室長・鎌田隆一氏の祝電が披露され錦上華を添えた。受賞者・同伴者・御家族、当会役員、審査委員等総勢 161 名が一堂に会したパーティーは厳粛の中にも和やかな雰囲気が進められ、受賞者同志の祝賀外交・交流も行われるなど、思い思いの歓談が続いた。最後に、当会顧問の早野敏美氏の中締めの挨拶でお開きとなった。</p>
30. 11. 19	創設 70 周年部会	学士会館	<p>平成 30 年度第 3 回創設 70 周年部会開催の件</p> <p>2022(令和 4)年に当会が創設 70 周年を迎える。70 年を機に新たな電気科学技術奨励会を模索する意味から、平成 29 年 11 月 20 日に 70 周年部会を発足させ、1 年が経過した。この間に各委員から貴重な意見をいただいたことに対しお礼を述べる。</p> <p>出席者：安田 浩氏(当会会長)、横山明彦氏(当会理事長)、児玉雅俊氏(前当会評議員会議長、当会部会長)、三木一克氏(当会理事)、後藤康之氏(当会評議員)、古澤 宏氏(当会理事)、仲田一元氏(当会監事)、早野敏美氏(当会顧問)</p> <p>事務局：護田一郎、杉山文和、松井利行</p> <p>[議事]</p> <p>部会長の児玉雅俊氏の司会で議事、進行を進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 創設 70 周年部会の取組について 2) 第 66 回電気科学技術奨励賞贈呈式での受賞者アンケートについて 3) 電気科学技術奨励会の財務状況(内側の視点)による賞金額検討 <p>討議は配布資料に基づいて行われ、70 周年部会の 1 年間のまとめ、アンケート結果、奨励賞にかかる費用、それぞれについて説明の後、議論が行われた。</p> <p>当会の財務状況については、有力出資企業である株式会社オーム社との結びつきが極めて強固であることの確認、現状の寄附金を継続していただくことの重要性について委員会全員が再確認し、議事を終了した。</p>
30. 12. 3	内閣府「立入検査」	オーム社第 7 会議室	<p>内閣府公益認定等委員会の「立入検査」が行われる</p> <p>公益財団法人への移行に伴い、平成 27 年 12 月 10 日に第 1 回目の立入検査が実施された。以降 3 年が経過し、12 月 3 日に内閣府による第 2 回目の業務・財務の立入検査が実施された。</p> <p>午前 10 時、当会の安田 浩会長の挨拶で始まった。当日の出席者は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣府から、2 名の検査官(佐藤泰司氏、三宅泰明氏) ・当会から、安田会長、横山理事長(会長、理事長とも朝の挨拶の後、中座)、仲田一元監事、事務局 3 名(護田一郎、杉山文和、松井利行)が対応。 <p>午前中は、当財団の全体概要の説明と質疑応答が行われ、午後は「財務関係」(仲田監事、護田が対応)と「事業関係」(杉山、松井が対応)の 2 班に分かれ、それぞれ監査を受け、その業務内容の説明を行った。</p> <p>立入検査は主に平成 29 年度の理事会、評議員会の議事録等の確認並びに計算書類等の確認及び質疑応答が行われた。その後検査官か</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>らの講評があり、午後3時30分、一連の立入検査を終えた。</p> <p>検査官からの講評で、特に指摘があった事項(詳細は割愛)は、ガバナンスについて及び理事会、評議員会開催時の出席の費用(交通費)の扱いについて、というものであった。当財団の事業運営と密接に関係する事項であるので、その指摘を受けて、次の対応を取ることとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガバナンスについては、役員等候補者選出委員会を組織し、役員の選出に当たり欠格事由を記載するとともに、公正、公平、透明性のある手続きを確保することとした。 ・交通費の扱いについては、実費精算方式を導入し、その運用については、理事会、評議員会の議を経て、内規等の扱いにより事務局で対応することとした。
31. 2. 27	創設 70 周年部会	学士会館	<p>平成30年度第4回創設70周年部会(最終答申作成)を開催 出席者：安田 浩氏(当会会長)、横山明彦氏(当会理事長)、児玉雅俊氏(前当会評議員会議長、当部会長)、古澤 宏氏(当会理事)、後藤康之氏(当会評議員)、早野敏美氏(当会顧問) 事務局：護田一郎、杉山文和、松井利行 都合により、三木一克氏(当会理事)、仲田一元氏(当会監事)は欠席</p> <p>[議題]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 創設70周年部会の最終答申作成について 2. その他、平成30年12月3日の内閣府の監査(立入検査)に基づく諸新規程(当会役員等候補者選出委員会規程(案)、個人情報保護規程(案))について <p>[議事]</p> <p>部会長の児玉雅俊氏のもと、進行された。</p> <p>冒頭、事務局から本日の議題は本部会の最終答申案の審議であり、2年にわたりご尽力いただいた各委員への謝辞が述べられた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 創設70周年部会の最終答申案について 事務局から、最終答申案の内容の詳細が説明された後、各委員からの提案も含めた議論がなされた。児玉部会長より、今回の最終答申案を本部会の総意として3月4日開催の理事会に諮ってよいかとの質問がなされ、全員異議なく承認した。 2. その他 内閣府の「立入検査」について 事務局より、資料に基づき、平成30年12月3日の内閣府の立入検査について報告した。検査官からの講評で、当会の諸規程の不備についての指摘があった。中でもガバナンスの観点から、役員等の選出のプロセスの透明性を確保することへの対応として、新たに「役員等候補者選出委員会」を設置し、指摘に応える体制を取ったこと。さらに諸規程の整備については、理事会の了承を経て評議員会で決議していただく事項であることを報告した。 <p>以上の討議を踏まえ、創設70周年部会はひとまず休会とし、必要に応じ臨時部会を開催することとした。</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
31. 3. 4	理事会 (第4回)	学士会館	<p>平成30年度第4回理事会(平成31年度予算承認理事会)を開催 出席者：理事総数14名中、出席理事12名(安田浩氏、間宮馨氏、横山明彦氏、梶原滋正氏、川上景一氏、古澤宏氏、三木一克氏、村上和夫氏、高本学氏、本田直志氏、安田一成氏、護田一郎氏) 欠席理事2名(寒川哲臣氏、富岡義博氏) 出席監事2名(仲田一元氏、持田二郎氏) 出席顧問1名(早野敏美氏)</p> <p>議事に先立ち、平成30年度第3回理事会議事録(平成30年9月21日)を確認した。</p> <p>[議事]</p> <p>定款第39条の規定により、理事会議長として横山理事長を選出した。定款第40条により、理事会の決議に必要な定足数(過半数)を満たしていることを確認。続いて、定款第43条により出席した代表理事(会長、理事長)、監事が議事録に記名、捺印しなければならない旨を説明し、議事に入る。</p> <p>第1号議案 創設70周年部会の最終答申(案)の件 第2号議案 平成31年度事業計画書(案)の件 平成31年度の事業計画として、①第67回電気科学技術奨励賞の贈呈、②第58回電気科学技術講演会の開催、③70周年記念史の編纂、奨励賞受賞者アーカイブ・シリーズ等の促進、④ホームページの充実による積極的な情報発信</p> <p>第3号議案 平成31年度収支予算書(案)の件 事業規模縮小を前提とした事務局体制の確立及び事務継承を図ることを前提とした予算の執行であること等を確認。</p> <p>第4号議案 臨時評議員会招集の決定 3月19日、学士会館において、創設70周年部会の最終答申の件、平成31年度事業計画書及び平成31年度収支予算書の件、内閣府の立入検査に伴う報告と新たな規程設置の件、その他の件を決議、承認いただく臨時評議員会を招集する旨を提案</p> <p>第5号議案 第67回電気科学技術奨励賞推薦候補の募集に関する件 第6号議案 第58回電気科学技術講演会の件 第7号議案 内閣府の立入検査に伴う報告と新たな規程の設置の件をそれぞれ説明した。「役員等候補者選出委員会規程」の4名の委員について、追加の意見が出されたが、議長、会長預りとなり、後刻修正された。その他については、慎重審議の結果、いずれの議案も原案通り全員異議なく承認、可決した。</p> <p>報告事項では、</p> <p>i) 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告に関する件 定款第27条及び法人法90条、197条により、平成30年度(平成30年6月～平成31年3月)の執行状況について報告。併せて代表理事、業務執行理事及び補佐並びに事務局長の意見交換が随時行われていることを報告。</p> <p>ii) その他として、次回の平成30年度決算承認理事会を6月5日(水)に開催する旨を報告。</p> <p>上記事項がいずれも承認され、議事を終了した。</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
31. 3. 19	臨時評議員会	学士会館	<p>平成 30 年度臨時評議員会を開催 出席者：評議員総数 20 名中，出席評議員 15 名(江頭 誠氏，太田昭吾氏，尾口裕介氏，北島尚史氏，後藤康之氏，佐々木昭悟氏，軸屋尚久氏，篠原郁二氏，祖父江和夫氏，田中 明氏，塚田龍也氏，秦利男氏，松本袈裟文氏，安川秀樹氏，吉田 隆氏) 他に，当会代表理事(会長)・安田 浩氏，(理事長)・横山明彦氏が出席，(当会顧問)早野敏美氏がオブザーバーで出席 欠席評議員 5 名(秋山靖裕氏，鈴木貞二氏，園原吉光氏，中谷竜二氏，松田 薫氏)</p> <p>定款第 20 条の規定により，出席評議員の互選により議長に祖父江和夫氏を選出する。祖父江氏が議長席に着き開会を宣言後，議長が定款第 21 条により評議員会の議決は定足数(過半数)を満たしていることを確認後，議事録署名人に後藤康之氏，松本袈裟文氏を指名し，議事に入る。</p> <p>議事に先立ち，平成 30 年度臨時評議員会議事録(平成 30 年 9 月 21 日)を確認した。</p> <p>[議事] 第 1 号議案 内閣府の立入検査に対応した諸規程の見直しと追加規程の件</p> <p>平成 30 年 12 月 3 日に行われた内閣府による立ち入り検査について報告する。検査官の講評で，特にガバナンスの観点から，役員等候補者の選出を含めた諸規程の整備について指定を受けたこと。これを受けて，「役員等に対する報酬及び費用に関する規程」などの一部改正，「個人情報保護規程」及び「役員等候補者選出委員会規程」の新設について説明。質疑応答が行われ，なおかつ慎重審議の結果，異議なく原案通り承認した。</p> <p>[業務報告] i) 創設 70 周年部会の最終答申について 創設 70 周年部会の最終答申(「当会のあるべき姿」について)が，平成 30 年度第 4 回理事会(平成 31 年 3 月 4 日開催)で承認された件を報告。 ii) 平成 31 年度事業計画書及び収支予算書について 平成 31 年度の事業計画書及び収支予算書類等が，平成 30 年度第 4 回理事会で承認された件を報告。 iii) 第 58 回電気科学技術講演会の件 第 58 回の同講演会(演題は「進化する“くるま”の電動化と要素技術)を，4 月 19 日(金)に新宿区立四谷区民ホールにおいて開催することが，平成 30 年度第 4 回理事会で承認されたことを報告。 iv) 第 67 回電気科学技術奨励賞推薦募集の件。 推薦候補応募の書類を全国の電力会社，電機関連会社，各種団体，研究施設，大学・工業高専等へ発送し，周知を図るほか，ホームページを通じての告知を行うこと等が，平成 30 年度第 4 回理事会で承認されたことを報告。</p> <p>以上をもって議事を終了した。</p>

以 上